

第5回嘉麻市総合計画策定審議会 会議録

- 1 会議等の名称 第5回嘉麻市総合計画策定審議会
- 2 開催日時 令和8年8月19日(水) 10:00～
- 3 開催場所 嘉麻市役所本庁舎5階 本庁舎5階5BC会議室
- 4 公開または非公開の別 公開
- 5 出席者

(1) 出席委員

嘉麻市誘致企業振興会	豊田 晃久
学識経験者	井原 徹
株式会社福岡銀行	松井 英之
自治労嘉麻市職員労働組合	松尾 弘子
嘉麻・桂川保育協会	溝口 恭子
嘉麻市行政区長連合会	松岡 康則
嘉麻市PTA連合会	木下 真智子
嘉麻市観光まちづくり協会	中村 瑠梨
一般公募	志水 真由美

(2) 欠席委員

J Aふくおか嘉穂	平畑 英幸
九州テレ・コミュニケーションズ	中村 香織
(株式会社ケーブルステーション福岡)	
一般公募	皆川 遼
	※順不同、敬称略

(3) 執行機関

総合政策課	課長	小林 純一	課長補佐	伊藤 一洋
	係長	藤内 優	主任	香田 潤佑
	担当	犬丸 亮子		

- 6 傍聴人数 0人
- 7 議題及び審議の主な内容

【開催前に事務局より説明】

○委員の交代について

【報告】

1. 前回会議時の質問について回答
2. 市民ワークショップ及び女性100人会議について
3. メッセージボードについて
4. 団体アンケートについて

【協議】

1. 策定スケジュール及び課題整理・基本構想（骨子案）について

【その他】

嘉麻市総合計画策定審議会の開催日程について

第6回 9月24日（木）10：00～

第7回 11月9日（月）13：30～（※11月4日より変更）

第8回 2月17日（水）10：00～

8 配布資料

- （1）第5回嘉麻市総合計画策定審議会レジュメ
- （2）委員名簿
- （3）第2次嘉麻市総合計画書【本編】 ワークショップ部分のみ抜粋
- （4）第3次嘉麻市総合計画_市民ワークショップ結果報告書
- （5）女性100人会議報告書
- （6）メッセージボード報告書
- （7）団体ヒアリング調査結果報告書（速報版）
- （8）第3次嘉麻市総合計画策定にかかる進捗及びスケジュール等について
- （9）嘉麻市総計計画基本構想(骨子案)※第5回嘉麻市総合計画策定審議会資料

9 議事の内容

【開会前】

○委員の交代について

後藤委員の代わりに松尾委員が新たに就任（自治労嘉麻市職員労働組合）

【報告】

1. 前回会議時の質問について回答

資料を用いて説明。

- ・前回の審議会で質問のあった「ワークショップの意見がどの程度計画に反映されたか」については、個別の意見を直接施策として反映したものではなく、市民アンケートやワークショップ等から得られた意見を総合的に分析し、それらを踏まえて、当時の審議会等で審議を行い、計画に反映し策定を進めていった。

【主な質疑及び意見等】

なし

2. 市民ワークショップ及び女性100人会議について

資料を用いて説明。

～市民ワークショップ～

- ・第3次総合計画の基本構想策定に向け、市民アンケートで見えてきた課題を共有するとともに、「10年後の嘉麻市をどうしたいか」「そのために市民・地域と行政が何ができるか」を考えることを目的として、市民ワークショップを実施した。
- ・6月27日、28日に稲築・碓井・山田・嘉穂の4地区で開催し、計112人が参加した。
- ・参加者アンケートでは、「とても良かった」「良かった」を合わせて9割以上となり、参加者からは、普段話す機会のない人との意見交換や、まちの将来を自分事として考える機会になったとの意見があった。
- ・主な意見として、「理想の嘉麻市」では、豊かな自然、人や世代のつながり、子育て、子どもの安心・安全等に関する意見が多く挙げられた。
- ・「市民・地域ができること」では、あいさつや声かけ、清掃活動、イベントへの参加、自助・共助等、身近な行動に関する意見が多く、「行政が行うこと」では、広報・情報発信、公共交通、財政効率化・行財政改革、道路整備、観光振興等が挙げられた。また、市民の声を聴き、対話を重ねる双方向のコミュニケーションを求める意見もあった。
- ・地区別では、稲築地区で広報・情報発信、碓井地区で企業誘致、山田地区で自助・共助や地域資源の維持、嘉穂地区で産業振興や人口減少対策、財政効率化等への関心が見られた。

～女性100人会議～

- ・7月19日に、「嘉麻市が女性や若者に選ばれるまちとなるために」をテーマとして、女性100人会議を開催し、111人が参加した。
- ・11グループに分かれて、「日頃感じているモヤモヤ」や地域の課題、「こうなってほしい」という将来の姿について意見交換を行った。
- ・主な意見として、公共交通・移動手段、働く場所・企業誘致、子育て・若者支援、地域コミュニティ、既存施設や地域資源の活用等が挙げられた。特に、通院・買い物・通学等のためのデマンド交通やタクシー等の移動手段の充実を求める意見が多くあった。また、若い世代が住み続けるための雇用の場、若者の起業、女性の雇用・キャリアアップ支援、空き家や既存施設、自然・歴史等の地域資源の活用についても意見があった。
- ・女性の視点からは、「男だから、女だから」という区別のないまちを求める意見や、女性の雇用・キャリア形成、女性議員の増加等、男女共同参画に関する意見も出された。さらに、市民の意見を聴くだけでなく、その後の対応や結果を市民に示してほしいとの意見もあった。また、若い世代や子育て世代の参加促進、男性も含めた意見交換等が今後の課題として挙げられた。

【主な質疑及び意見等】

- ・女性100人会議において、各グループの検討内容の発表は行ったのか。

⇒最初に嘉麻市の課題を説明し、市長が女性の意見を聞きたいという経緯から、男女共同参画の視点も含めて報告を行った。その後グループワークを行い、各班でシートを作成し、5分程度で発表を行った。時間の都合上、発表後のディスカッションまでは行えなかった。最後に市長より総括的なコメントがあった。

3. メッセージボードについて

資料を用いて説明。

- ・第3次総合計画策定にあたり、「10年後の嘉麻市、こうなったらいいな」をテーマとして、6月15日から30日まで、本庁舎及び3支所にメッセージボードを設置した。
- ・45件のメッセージが寄せられ、内容を分類したところ、「子ども・子育て・若者」、「生活利便・商業・娯楽」、「地域コミュニティ・つながり」、「健康・福祉・安心」等の意見が多く見られた。
- ・その他として、公共交通、働く場、若者の定住、移住、地域経済、観光・魅力発信、自然・環境等、幅広い分野について意見が寄せられた。
- ・メッセージボードについては、匿名で自由に意見を寄せる形式であることから、統計的に市民全体の意見を代表するものではなく、市民からどのような視点の意見が寄せられたかを把握するための参考情報として整理する。

【主な質疑及び意見等】

- ・回収件数がやや少ないのではないか。

⇒周知は行ったが、設置場所が庁舎等に限られたため、件数が少なくなった。

4. 団体アンケートについて

資料を用いて説明。

- ・教育・子育て、移住・定住、産業・雇用、地域福祉、文化・歴史、スポーツ、障がい者福祉の7分野を対象に、各分野の現状、課題、今後の方向性について団体ヒアリング調査を実施。
- ・移住・定住分野では、自然環境や地域住民の温かさが評価される一方、住まい、交通、買い物、情報発信等の受入体制が課題とされた。
- ・産業・雇用分野では、後継者・担い手不足が共通課題として挙げられ、企業誘致や創業支援、地域経済の活性化を求める意見があった。
- ・地域福祉分野では、行政区加入率の低下や担い手不足、独居高齢者や困窮世帯等、支援につながっていない人への対応、地域活動の広域的な連携等が課題とされた。
- ・文化・歴史分野では、地域資源の情報発信や文化財・伝統文化の担い手・資金不足が課題とされ、学校教育との連携やSNS等を活用した情報発信の必要性が指摘された。
- ・スポーツ分野では、施設の老朽化、指導者不足、宿泊施設不足、学校部活動の地域移行等が課題として挙げられた。
- ・障がい者福祉分野では、親亡き後の生活、相談支援、地域の理解等が課題とされ、一般就労への移行において交通インフラの不足が障壁となっているとの意見があった。

【主な質疑及び意見等】

なし

【協議】

1. 策定スケジュール及び課題整理・基本構想（骨子案）について資料を用いて説明。

～策定スケジュール～

- ・令和7年度から審議を進めており、これまでに市民意向調査及び市民意見交換を実施し、その結果を踏まえて課題整理を進めてきた。今後は、9月の審議会で基本構想のパブリックコメント案等について審議し、10月から11月初旬にかけて基本構想のパブリックコメントを実施する予定。また、10月27日、28日、29日及び11月1日に市民説明会を開催し、基本構想の内容に加え、財政状況等についても市民へ説明する予定。
- ・パブリックコメント等で寄せられた意見を整理・反映した上で、11月上旬頃に本審議会から基本構想について答申を受け、12月市議会への議案上程を予定。
- ・12月議会では基本構想について議決を求めるとともに、並行して策定を進めている基本計画案についても報告する予定。その後、令和9年3月に基本計画の策定状況を報告し、令和9年度から第3次嘉麻市総合計画をスタートさせる予定。

～基本構想（骨子案）～

- ・序論では、総合計画策定の目的、計画の構成・期間・位置づけを整理するとともに、嘉麻市の人口、産業、交通、行財政等の現状、市民アンケートや各種市民意見交換等から把握した住民意識、人口減少・少子高齢化、地方創生、デジタル化、防災・減災、住民参加、GX・脱炭素、多様性等の社会情勢を整理。
- ・これらを踏まえた「まちづくりの主要課題」については、**「人口減少への対応——持続可能なまちへの転換」**を最大の課題として位置づけ、次の6つの課題に整理している。

1. 地域交通網の再構築
2. 産業振興と拠点活性化
3. 子育て・教育環境の質の向上
4. 地域医療体制の維持と福祉の充実
5. 住環境の整備と地域コミュニティの再編
6. 行財政改革とDXの推進

また、これらの課題に取り組みながら、10年後の嘉麻市が目指す「市の将来像」を設定するとともに、まちづくりを進める上での基本的な考え方として、次の4つの視点を示している。

1. 将来を見据えた段階的なまちづくり
2. 地域の資源を活かし、地域の魅力を高める
3. 目的に応じた柔軟な連携によるまちづくり
4. 健全な行財政運営

- ・将来像については、市民アンケートやワークショップ等から得られた「自然とつながり」「人がつながり、世代をつなぐ」「挑戦するまち」等のキーワードを踏まえ、今後成文化していく予定。
- ・第3次総合計画では、「人口減少への対応」を最大の課題とし、「交通」「産業・雇用」「子育て・教育」「医療・福祉」「地域コミュニティ」「行財政・DX」の6つの課題に取り組み、それを4つのまちづくりの視点から支える構成とし、今後、審議会での審議や市民からの意見等を踏まえ、嘉麻市の実情と市民の思いをより反映した基本構想として整理

していく予定。

【主な質疑及び意見等】

- ・財政状況が厳しく、老朽化した公共施設の廃止が今後増えていくと考えられるが、市民生活に支障が出ないように、残すべきものは残すなど精査しながら検討してほしい。交通の問題も含め、丁寧に計画を立ててほしい。
- ・人口減少等への不安に関する今の議論を、計画の前段として位置づけたほうがよい。
- ・第2次計画と変わっているところはあるのか。

⇒大きな枠組みは変わっていないが、新しい視点も盛り込んでいる。基本構想の将来像についても見直しを予定しており、追加すべき視点があれば意見をいただきたい。

- ・今回は特に人口減少への不安がより明確になったのではないかと、これまでは「具体的に何が足りない」という指摘が多かったが、コミュニティに対する漠然とした不安感が見られたように思う、人口が減少していく中で新しい技術が幸福度にどう貢献するかなど、漠然とした不安への対応も必要ではないか。

⇒第1次計画は合併直後の混乱期における策定であった。第2次計画では庁舎問題や各地区のゾーニング等が課題であり、それらを通じてまちづくりを進めてきた。近年は財源、施設の老朽化、人口減少が課題となっており、市民が幸福度を感じられるまちづくりを目指したい。

- ・基本計画の段階で住民の意見が反映されると思うが、スケジュール上はいつ頃になるのか。

⇒次回以降の審議会でお示ししていく予定である。12月以降に検討を進めることとなり、資料を送付して意見をいただく形になると考えている。

【その他】

- ・審議会の開催日程について、9月24日は従来どおりとし、11月4日10:00～を11月9日（月）13:30～に変更。
- ・総合計画基本構想骨子案について、意見等があれば、8月25日（火）までに事務局へ電話及びメール、QRコードのいずれかで連絡（欠席の委員については会議終了後に資料等を送付）。